

生成 AI 活用の普及及びサイバーセキュリティ強化支援業務委託プロポーザル 質問回答

令和7年9月8日

鳥取県商工労働部産業未来創造課

【質問1】

・仕様書「4業務内容」中の各業務は、原則、現地にて実施するものと理解していますが、例えば、(1)生成 AI 活用の普及支援の①普及セミナー(製造業向け)を1日目に実施し、②現地視察(製造業向け)を2日目に実施する等、各業務を実施するにあたりセミナー開催日と視察日をまとめることができるのでしょうか。

【回答1】

・普及セミナーと現地視察を連続した日程で実施することは可能です。企画提案内容によって判断します。

【質問事項2】

・仕様書「4(1) ①普及セミナー(製造業向け)」の開催場所、対象人数、形式(現地/オンライン)、対象者(生成 AI 活用企業/未活用企業、現場担当者/経営者等)等について既にご想定いただいているものがありましたらご教示ください。

【回答2】

・普及セミナーの開催場所、対象人数、対象者について、特段の想定はありません。形式は現地開催が望ましいと考えています。いずれも、企画提案内容によって判断します。

【質問3】

・仕様書「4(1) ②現地視察(製造業向け)」は、鳥取県内の企業が対象でしょうか。また、視察対象は貴庁が指定するのでしょうか。

【回答3】

・現地視察に参加するのは鳥取県内企業です。視察先は、契約後に受注者と協議して決定します。

【質問4】

・仕様書「4(2) サイバーセキュリティ強化支援」について、研修に参加される方はそれぞれ、どのような職務の方を想定されていますでしょうか。(製造現場の職員、IT 担当者、等)また、参加される人数は1日/1回あたり何名ぐらいを想定されていますでしょうか。

【回答4】

・対象となる職務や人数について、特段の想定はありません。企画提案内容によって判断します。

【質問5】

・仕様書「4(2) 場所」が指定されている(倉吉市、鳥取市、米子市)理由がございましたらご教示いただけますでしょうか。

【回答5】

・実践的脅威体験プログラム(製造業向け)は、参加意欲の高い企業を想定し、一度にまとめて実施するため、県中部の倉吉市を会場としています。一方、セキュリティ基礎研修は、県内全域から幅広く参加してもらうため、県東部(鳥取市)と西部(米子市)の2会場で開催するという趣旨です。

【質問6】

・仕様書「4(2)①実践的脅威体験プログラム(製造業向け)」は、開催日数が2日程度とされていますが、2日にわたり同一のプログラムを2以上の複数の企業に実施するのでしょうか。それとも、日ごとに異なるプログラムを同一の企業に2日にわたり実施するのでしょうか。

【回答6】

・同一企業に対して日ごとに異なるプログラムを2日間にわたり実施する想定ですが、企画提案内容によって判断します。

【質問7】

仕様書「4(2)①実践的脅威体験プログラム(製造業向け)および②セキュリティ研修」は、開催日数および開催回数がそれぞれ2日程度、各1回程度とされていますが、1日/1回あたり、それぞれ何時間ぐらいを想定されていますでしょうか。

【回答7】

・時間数について、特段の想定はありません。企画提案内容によって判断します。

【質問8】

・仕様書「4(2)②セキュリティ研修」の開催形式については、講演者が説明する講演の形式の想定でよいでしょうか。また、会議室等での対面講演、オンラインなどの想定はありますか。

【回答8】

・開催形式について、特段の想定はありません。企画提案内容によって判断します。

【質問9】

・仕様書「4(2)②セキュリティ研修」について、研修資料の形式については、紙やPPT、PDFなどいずれを想定されていますでしょうか。実施後に説明資料は視聴者に配布されますでしょうか。

【回答9】

・資料形式は特に指定していません。企画提案内容によって判断します。実施後には参加者へ配布することを想定しています。

【質問10】

・本件を受託した場合、多段階での再委託に問題はございませんでしょうか。

【回答10】

・本業務の中核部分は、受注者自身が実施してください。その上で、部分的な委託は認めます。

【質問11】

・審査会(プレゼンテーション)への参加人数に制限はございますでしょうか。

【回答11】

・人数の制限はありません。ただし、発表は受注者自身で行ってください。(下請けによる代行は不可)。

【質問12】

仕様書「3. 業務の目的」について

・生成 AI やサイバー攻撃のリスクへの対処必要性から県内企業への普及支援を行う必然性は大変良く理解できるのですが、製造業を対象を絞ってセミナーや現地視察を行う背景や理由について、補足頂けないでしょうか。

【回答12】

・普及セミナーや現地視察については、サイバー攻撃対策だけでなく、生成 AI 活用の普及支援も目的としています。本事業では製造業を対象としていますが、他業種向けは別途業務で実施中です。

・サイバーセキュリティ強化支援については、基礎研修は業種不問ですが、実践的脅威体験プログラムは今年度製造業を対象に実施し、他業種への実施は今後検討します。

【質問13】

・仕様書「4業務内容(1)生成 AI 活用の普及支援①普及セミナー(製造業向け)」

①普及セミナーを開催する際、オンライン(Web)開催とオンサイト(対面)開催のいずれかを選択可能でしょうか？ オンサイト開催の場合、開催場所の指定があるかも併せて確認させてください。

②普及セミナーに参加する企業の業種や規模の想定、および参加人数(定員)について確認させてください。

③県内企業の参加を想定した場合、セミナーの開催時間(例:半日、終日など)を確認させてください

【回答13】

・形式、参加企業の属性や規模、定員、開催時間について、指定はありません。企画提案内容によって判断します。

【質問14】

・仕様書「4業務内容(1)生成 AI 活用の普及支援②現地視察」について

①参加者は鳥取県内の製造業の方を想定でよろしいでしょうか

②参加者の現地視察にかかる旅費などの経費は、参加者の負担と想定してよろしいでしょうか

③参加者が鳥取県外へ視察に行くことも想定されているか確認させてください

【回答14】

①県内製造業が対象です。

②旅費などは参加者の自己負担となります。

③県外での視察も可能です。企画提案内容によって判断します。

【質問15】

・仕様書 4業務内容(2)サイバーセキュリティ強化支援 ①実践的脅威体験プログラム(製造業向け)

①倉吉市で開催予定のプログラムにおいて、参加企業の業種や人数の想定を確認させてください。

②実施時期が「年内目途」となっていますが、契約期間内(～2026年2月28日)であれば実施可能かをご確認させてください。

③開催日数が「2日間程度」となっていますが、同一プログラムを2回実施する想定なのかそれとも異なる内容を2日間に分けて実施する想定なのか確認させてください。

④本プログラムは「製造向け」とされていますが、主な対象として、工場や OT(Operational Technology) 関連のセキュリティ、もしくは、生成 AI に関連したセキュリティのどちらを想定されているか確認させてください。

【回答15】

- ①対象業種は製造業ですが、参加人数について特段の想定はありません。企画提案内容によって判断します。
- ②年内の実施が望ましいですが、年明けの実施も可能です。その場合は、実施報告書の提出期限に支障がないよう調整をお願いします。
- ③基本的には、1つのプログラムを2日間に分けて実施する想定ですが、企画提案内容によって判断します。
- ④生成 AI を含む情報システムに関連した脅威に対するセキュリティを想定しています。

【質問16】

・仕様書 4業務内容(2)サイバーセキュリティ強化支援 ②セキュリティ基礎研修

- ①鳥取市および米子市で開催予定の研修において、各会場での参加企業数や人数の想定を確認させてください。
- ②実施時期が「年内目途」となっていますが、契約期間内(～2026年2月28日)であれば実施可能か確認させてください。
- ③開催回数が「各1回程度」となっていますが、同一内容の研修を2回実施する想定でよいか確認させてください。
- ④本研修は「業種不問」とされていますが、一般社員を対象とした内容で問題ないか確認させてください。

【回答16】

- ①参加規模について、特段の想定はありません。企画提案内容によって判断します。
- ②年内の実施が望ましいですが、年明けの実施も可能です。その場合は、報告書提出期限を考慮のうえ実施してください。
- ③鳥取市と米子市で同一内容の研修をそれぞれ1回ずつ実施する想定です。
- ④対象者は提案内容に応じて設定可能です。

【質問17】

再委託について参加資格要件には「不可」との記載はございませんが、「個人情報・死者情報の取扱いに係る特記事項」第5条には(再委託等の禁止)が記載されているため、再委託を検討するにあたり、再委託に関する制限や報告義務の有無についても確認させてください。

【回答17】

- ・特記事項第5条にある通り、原則として再委託は禁止です。ただし、あらかじめ甲(県)が書面または電磁的記録で承諾した場合は例外的に認められます。
- ・また、本業務の中核部分は必ず受注者が実施してください。その上で、部分的な作業の委託は可能ですが、再委託先に対する適切な監督と県への報告が必要です。